

令和6年度 高松市外郭団体 経営評価シート

1 団体情報

No.	8	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人高松市スポーツ協会		
所在地	香川県高松市福岡町四丁目36番1号						
電話番号	087-822-0211	FAX番号	087-822-0120		所管部局	創造都市推進局 スポーツ振興課	
団体ホームページ	http://www.taka-spo.or.jp/						
代表者職氏名	会長 大西 努		設立年月日	昭和61年4月1日			
基本財産	10,000 千円	市出資等額(割合)	10,000 千円	(100.0%)			
設立目的	住民のスポーツ・レクリエーションを振興し、体力の向上を図り、生涯スポーツを推進することにより住民が広くスポーツに親しむとともに、高松市等から指定管理者としての指定を受けたスポーツ施設等を効果的、効率的に活用して豊かな人間性の涵養と健康で文化的な住民生活の実現に資することを目的とする。						
事業概要	子供からお年寄りまで、だれでも参加できる魅力あるスポーツ教室・レクリエーション教室等の自主事業を充実させるとともに、スポーツ施設等の効率的かつ円滑な運営を進め、住民の健康増進とスポーツの振興を図る。						
評価対象決算期	令和6年4月1日		～	令和7年3月31日			

2 組織の状況(各年度3月末現在)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
役員数(非常勤含む)	16 人	15 人	15 人
うち市派遣(兼務含む)	1 人	1 人	1 人
うち市退職者	1 人	0 人	1 人
役員平均年間報酬	2,610 千円	2,961 千円	2,960 千円
職員数(非常勤含む)	101 人	101 人	97 人
うち市派遣(兼務含む)	0 人	0 人	0 人
うち市退職者	0 人	2 人	1 人
職員平均年間報酬	3,427 千円	3,353 千円	3,417 千円

3 主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和6年度事業費
スポーツ施設の管理業務	高松市から指定管理者として指定を受けた36のスポーツ施設等の管理運営	895,773 千円
スポーツ教室開催事業(自主事業)	幼児から高齢者までの幅広い年齢層を対象に、スポーツ施設の特徴を生かした各種スポーツ教室を開催し、生涯スポーツの推進を図る	34,117 千円
競技スポーツ等の振興事業	競技スポーツ、地域スポーツ及び健康・レクリエーションスポーツの振興並びにスポーツ団体・人材の育成	14,773 千円
物品販売事業	自動販売機を設置し、販売手数料を収受及びラインテープ等の物品販売	9,777 千円

4 市の財政的関与の状況

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
補助金	7,244 千円	7,036 千円	6,996 千円
委託料	703,121 千円	659,562 千円	678,423 千円
うち指定管理料	703,121 千円	659,562 千円	678,423 千円
その他	0 千円	0 千円	0 千円

5 財務状況

①正味財産増減計算書

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
経常収益	1,028,116 千円	979,903 千円	990,191 千円
経常費用	1,026,417 千円	989,440 千円	973,651 千円
当期経常増減額	1,699 千円	△ 9,537 千円	16,540 千円
経常外収益	0 千円	0 千円	0 千円
経常外費用	0 千円	0 千円	0 千円
当期経常外増減額	0 千円	0 千円	0 千円
当期一般正味財産増減額	1,699 千円	△ 9,537 千円	16,540 千円
当期特定正味財産増減額	0 千円	0 千円	0 千円
当期正味財産増減額合計	1,699 千円	△ 9,537 千円	16,540 千円

※四捨五入の関係上、千円でずれる場合があります。

②貸借対照表

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
流動資産	183,458 千円	137,131 千円	141,128 千円
固定資産	251,910 千円	279,928 千円	254,782 千円
資産計	435,368 千円	417,059 千円	395,910 千円
流動負債	164,937 千円	120,309 千円	114,768 千円
固定負債	241,910 千円	269,928 千円	244,782 千円
負債計	406,847 千円	390,237 千円	359,550 千円
指定正味財産	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
一般正味財産	18,522 千円	16,823 千円	26,359 千円
正味財産計	28,522 千円	26,823 千円	36,359 千円

※四捨五入の関係上、千円でずれる場合があります。

<主な経営指標>

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
流動比率 (流動資産÷流動負債)	111.2 %	114.0 %	123.0 %
自己資本比率 (正味財産計÷負債・正味財産)	6.6 %	6.4 %	9.2 %

6 経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管課による評価
①公益的使命・市が期待する役割への対応	施設の維持管理を適切に行うため、有資格者を配置して管理体制を維持し、日常点検や施設安全点検シートに基づく定期点検を実施した。また、緊急時に備え、防災計画、消防計画を策定し、避難訓練や職場研修等を通じて全職員に対し、安全管理、危機管理意識の向上を図った。	36施設の指定管理者として、公正・公平な場の提供に努めるとともに、自主事業において、各種スポーツ教室をはじめとするスポーツ振興の積極的な取組を行っている。 今後も専門的な知識やネットワークを活用し、地域住民の多様なニーズを踏まえた、効果的な取組を期待したい。
②業務・組織管理	効率的に管理・運営を行うため、交替制勤務とし、事務量、利用状況等に応じて、職員を適正に配置している。また、職員の健康診断を定期的に行うなど、就業規則及び労働関係法令の遵守に努めたほか、万一の事故に備え、社会体育施設保険や重要物品の火災保険など損害保険に加入した。	適正な人員配置等により、効率的な組織運営が行われている。 今後も計画的な人材確保により、効率性を追求した運営を期待したい。
③財務状況	職員の時間外勤務等の縮減に取り組んだほか、各施設応援体制をとるなど効率的な勤務体制をとることで人件費の縮減を図った。物件費については、省エネの徹底や委託業務、施設等の修繕を可能な限り職員で実施するなど、経費節減に努めた。	積極的なコスト削減に加えて、利用料金収入及び自主事業収入の増加により、正味財産期末残高は増加していて、健全性の確保ができています。 今後も計画的かつ持続可能な健全経営が行われることを期待したい。

<p>④今後の方向性及び課題</p>	<p>今後、施設の管理運営を継続的かつ安定的に推進していくにあたり、施設の老朽化や物価高騰、人件費の増加といった外部環境の変化が大きな課題として懸念され、運営財政に直接的な影響を及ぼす可能性が高い。こうした状況を踏まえ、行政支援の活用などを通じて、安定的な財源確保と利用者満足度の向上を図ることが重要である。</p>	<p>地域住民の健康増進やスポーツ振興を中心とした公益性の高い運営を維持しながら、多様化する地域住民のニーズへの対応が求められる。 また、安定的な財源確保及び人材確保により、長期的視点での健全かつ戦略的な組織運営を期待したい。</p>
--------------------	--	---

【再掲】各指標の推移

